

一九五一番

うれたきや 醜しこほととぎす 今いまこそば 声こゑの囁かる
がに 来きな鳴きとよめめ

一九五二番

今夜こよひの おほつかなきに ほととぎす 鳴なくなる
声こゑの 音おとの遙はるけさ

一九五三番

五月山さつきやま 卯うの花月夜はなづくよ ほととぎす 聞きけども飽あか
ず また鳴なかぬかも